

**おすすめ DVD
作品紹介**

- 人権センター所蔵のDVDの一部です。
- 人気の高い作品の場合は、予約状況によって貸出期間の調整をお願いすることがあります。
- ご不明な点等はお気軽に人権センターにお問い合わせください。



番号	タイトル	内容	時間	形式
2-032	サラマット ～あなたの言葉で～	訪問介護事業所で働く珠美は、新しく職場に来たフィリピン人に対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在と感じてしまいます。対立や交流を通して、新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。多文化共生社会の実現を目指す人権啓発ドラマです。	36分	ドラマ 活用ガイド付き
3-065	いじめ 心の声に気づく力	小学6年生のクラスメイト達。一見ふざけ合いや遊びに見える行為が一人の子に向けエスカレートしていく。いじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養います。いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。	19分	ドラマ
3-068	new! 夕焼け	ヤングケアラーの背景には、少子高齢化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、家庭の経済状況の変化といったさまざまな要因があります。こうした中で、ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うため、本人の育ちや教育に影響を及ぼすことが多く、問題になっています。ヤングケアラーという状況に置かれた子どもたちの健やかな成長のためには、関係機関・学校・地域・団体等がしっかりと連携し、早期発見とその支援につながる取組が求められています。	35分	ドラマ
5-058	風の匂い	スーパーマーケットで働く歩と正人が主人公。歩には知的障害がありますが、子どものころは共に遊び、学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る人が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマです。	34分	ドラマ 解説付き
5-074	奇跡の子どもたち	日本でたった3人の希少難病「AADC欠損症」の患者とその家族を10年追ったドキュメンタリーです。一所懸命に生きる姿と、その子ども達を深い愛情で育む両親。当たり前前に家族として接する妹。家族の愛の深さと生きるということの大切さを感じていただける作品です。	80分	ドキュメンタリー 映画
5-077	new! さよならCP	CP（脳性麻痺）者の急進的な団体「青い芝」の人々の生活と思想をカメラに収めた、原一男監督の第一作。障害者だからといって自ら片隅でこっそりする生き方は、障害者差別を容認することになると考え、その不自由な体を積極的に人前にさらしていく。「CP（障害者）＝健全者という関係の共通項が身体の階級性にあり私自身の〈関係の変革〉というテーマをベースにして、被写体＝演じる者を、撮る側にどこまで見ることに耐えられるかを賭けてみたかった」（原一男）	82分	ドキュメンタリー 映画
6-017	ここから歩き始める	認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護を巡る葛藤と、絆の紡ぎなおしを描いています。高齢者が人間として誇りを持って生きていくうえで大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけになるドラマ教材です。	34分	ドラマ 解説付き
6-019	「やさしく」の意味 —おばあちゃんは認知症 だった—	敦賀市で開催された「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で、最優秀作品に選ばれた小学4年生の作文「『やさしく』するということ」を脚色したドラマ形式の教育映画です。全国の認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会から、一人ひとりが安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを示唆しています。	33分	ドラマ
7-230	親愛なる、あなたへ	定年退職前に妻と死別し、一人暮らしで籠りがちな毎日を過ごす男性が、地域の人たちとかかわり繋がっていく姿を通して、一人ひとりの「気づき」こそが、互いに支え合う力が低下した地域の「再生」につながることで、無関心・無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることが、周りの人だけでなく自分にも大切だということを語りかけます。	37分	ドラマ

7-240	桃香の自由帳	核家族化や都市化が進む中、互いにふれあい、支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかったり相手のことを誤解して排除したりするなど、私たちは気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語ります。	36分	ドラマ
7-252	ほんとの空	自分の住むマンションは、面倒な人が多く住むと感じている主人公の弓枝は、息子の友だちを思う純粋な気持ちや、他国から引っ越してきた隣人と接して、自身の誤解や偏見に気付いていきます。人と深く向き合い、すべての人権課題を自分に関わるものとして捉え、日常の行動につなげていくことを目的としています。	36分	ドラマ 活用ガイド付き
7-253	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私達の身の回りにおける人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることもできます。気づくこと、そして行動することの大切さを描きます。	25分	ドラマ 解説付き
7-255	ヒーロー	働き盛りのサラリーマン男性が、町内会副会長を受けたために秋祭りでヒーロー役をし、転倒して骨折。せつかくのリフレッシュ休暇を家で一人で過ごすこととなります。これをきっかけに地域と関わりはじめ、様々な人と出会い、自分の家族との絆も深めていきます。新たな地域のつながりを結んでいくことの大切さを実感してもらえる作品です。	34分	ドラマ
7-256	秋桜の咲く日	「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害を取り上げています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「共に生きることの喜び」を伝えています。	34分	ドラマ 字幕 副音声有
7-260	家庭の中の人権 カラフル	両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通して、家庭の中にある人権問題を取り上げます。子どもの就職、結婚、他人の噂、そしてLGBT・・・誰もが多様性を認めるカラフルな人生を送るために「人権」に対する意識と知識を高め、話し合うきっかけとなる良質なドラマです。	31分	ドラマ 解説・ ワーク シート 付き
7-272	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～	宿題は、「お母さんの仕事」という作文。清掃作業員として働くお母さんの仕事を恥ずかしく思うってしまう少女の葛藤と気づきの物語。親子愛・姉妹愛・友人の思いやり、そして母の後ろ姿が少女の心を変えていきます。人権への理解を深めるとともに、誰もが幸せに生きていく権利を持っていることを知ってもらうことを目的に制作されました。	19分	ドラマ
7-276	あした咲く	独身会社員の妹・茜と専業主婦の姉・翠。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤。姉妹での対立や父との会話、そして地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。女性はもちろんすべての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる、多様性尊重社会。その実現を目指すきっかけとなる人権啓発ドラマです。	36分	ドラマ
7-277	君が、いるから	母親からの心理的虐待に悩む若者・奏。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることが出来ず、自己肯定感の低い彼女が、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。友とこころを合わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」がある事を奏の成長を通して描きます。	33分	ドラマ
7-294	こんにちは 金泰九さん —ハンセン病問題から 学んだこと—	全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞を受賞した後藤さんの「NO！と言える強い心をもつ」をもとに映画化した作品です。元ハンセン病患者・金泰九（キム・テグ）さんとの交流を中心に後藤さんの所属する盈進中学校ヒューマンライツ部が20年以上続けてきた長島愛生園での体験学習を紹介。金泰九さんの思いも語られています。	25分	ドキュメンタリー